

IV. 2024 年度大会要領

1. 第 57 回 埼玉県スキー技術選手権大会（予選・決勝） 兼 全日本スキー技術選手権大会予選会

- 【会 期】 令和 6 年 1 月 21 日(日)
- 【会 場】 長野県 戸隠スキー場
- 【本 部】 戸隠高原ホテル TEL:026-254-2525
- 【大会役員】 大会会長 大藤雅史
大会副会長 新井利和
- 【組織委員会】 委 員 長 米田智幸
副委員長 長谷川悟、中村崇人、大沢宗明
委 員 菅野雅一、宮沢宏文、万沢一成
- 【競技委員会】 *技術代表 長谷川悟
*競技委員長 宮沢宏文
*総括審判長 菅野雅一
審判係 吉村哲詞、原田武久、大塚 毅、伊藤琢磨、町田 一、森 義之、高井一郎、
関山 厚、菊地英敏、浅川真澄、服部克之、榊 麻衣子、田原典子、橋本和昌
審判アドバイザー 出倉義克
*コーディネーター 中村崇人
*セクレタリー 万沢一成
計時計算係長 大竹章裕
計時計算委員 橋本 憲、保坂治夫、茂木真理子、横島和美
*計時計算アドバイザー 大沢宗明
安全対策係長 北村匡史
安全対策委員 山本博之
総務主任 柴崎日出夫
総務副主任 羽生健志郎

開催要項

(参加資格)

1. 日本国籍を有する者
2. 2024 年度の全日本スキー連盟一般登録を完了している者
3. 令和 6 年 1 月 1 日現在満 18 歳以上であり、バッジテスト 1 級以上の認定を受けている者

(競技種目)

1. 競技種目は、次に掲げるとおりとします。ただし、全日本スキー技術選手権の競技種目に準じ変更する場合があります。また、天候、バーンの状況により変更する場合があります。
 - 1 大回り (スペース規制・整地)
 - 2 小回り (リズム変化・整地)
 - 3 小回り (急斜面・整地)
 - 4 総合滑降 (中急斜面・整地)-ファイナル-
 - 小回り (不整地)

(競技方法)

2. 競技方法は次のとおりとします。
 - (1) 4 種目の合計得点により、オープン参加を含めた上位から男子 30 位タイ、女子 6 位タイまでがファイナルに進み、さらに 1 種目を行う。
総合成績の順位は、ファイナル進出者以外は 4 種目の合計点、ファイナル進出者は 5 種目の合計得点によって決定します。
 - (2) 得点方式は、100 点満点とします。減点法で採点し、3 審 3 採で採用得点の合計点で成績順位を決定します。
(ファイナルは 5 審 3 採とします。)
 - (3) 天候等で競技が実施できなくなった場合は、中断までに実施した種目で成立します。
 - (4) 競技役員の手配に従ってください。

(表彰規定)

3. 表彰は次のように定める。

- (1) 男子総合 6 位まで
- (2) 女子総合 3 位まで
- (3) 表彰は、埼玉県登録選手のみとします。

(競技規則)

4. 競技規則は次のとおりとします。ただし全日本スキー技術選手権の競技規則に準じ変更することがあります。

【公式用品用具の使用に関して】

- (1) 選手は、全日本スキー連盟公式用品委員会において認定された用具、用品を使用し用具用品に表示される商標及び社名は全日本スキー連盟規定のものでなければなりません。ただし本項の規定範囲は、開、閉会式の場所及び競技場内において点呼を受けたときからフィニッシュまでとします。
- (2) プレートは、市販商品の正常な使用法に限りです。改造もしくは複数商品を複合した使用法は認めません。
- (3) 出場選手が使用できるスキーは、予選種目から決勝種目まで2台以内とします。
- (4) 選手が着用を許されるウェアは、市販されているあるいは市販されるルーズフィットなものとし、レーシングスーツ(ワンピース・ツーピース)は認めません。

【帽子等の着用】

- (1) 競技中は、全種目についてヘルメットを着用することとします。

【ビブの着用】

- (1) インスペクション等でコート内に入るときは、ビブを外側に着用しなければなりません。

【スタートの要領】

- (1) 競技者は、種目別スタート地点に 10 分前に集合しスタート審判のコールを受け応答しなければなりません。
- (2) 競技者は、前者の出発後直ちにスタート地点に立ち出発のための準備をしなければなりません。
- (3) 競技者は、スタート審判の出発合図により出発しなければなりません。直ちに出发しない場合は、当該種目は棄権とみなします。

【フィニッシュの要領】

- (1) フィニッシュは、競技コートの下方に設置された目印を結ぶフィニッシュ・ラインの通過をもって演技の終了とします。ただし、安全上の理由により所定の区域で停止を要求することがあります。

【演技の中断に関して】

- (1) 演技を中断した場合には、その位置で体勢を整え速やかに再スタートしてください。ただし、中断が長引くと判断した場合には、当該コートの審判長の指示に従い行動してください。
- (2) やむを得ず途中棄権する場合は、その旨を係員に告げ速やかにコース外に移動してください。この場合において当該種目の得点は0点としますが、次の種目からの出場権は保持されます。
- (3) 選手は、用具の離脱について係員もしくは役員の要請を受けた者の幫助を受けることができます。

【コートインスペクションに関して】

- (1) コート設定後のインスペクションは、原則としてコート外から行ってください。コート内に入る必要がある場合は、事前に告示、通告を行い、横滑りで移動することとします。

【抗議に関して】

- (1) 抗議は書類をもってセクレタリーに提出してください。ただし、急を要する場合は当該コートの審判長に申し出ることができます。

【その他】

- (1) その他の検討事項は、選手会に提案し審議します。
- (2) 予選のビブは最終種目滑走後にゴール付近にて回収します。持ち帰らないようにしてください。

2. 第 12 回埼玉県マスターズスキー技術選手権大会 兼 全日本マスターズスキー技術選手権大会予選会

- 【会 期】** 令和 6 年 1 月 20 日(土)
- 【会 場】** 長野県 戸隠スキー場
- 【本 部】** 戸隠高原ホテル TEL:026-254-2525
- 【大会役員】** 大会会長 大藤雅史
大会副会長 新井利和
- 【組織委員会】** 委 員 長 米田智幸
副委員長 長谷川悟、中村崇人、大沢宗明
委 員 菅野雅一、宮沢宏文、万沢一成
- 【競技委員会】** *技術代表 長谷川悟
*競技委員長 宮沢宏文
*総括審判長 菅野雅一

審判係	吉村哲詞、原田武久、大塚 毅、伊藤琢磨、町田 一、森 義之、高井一郎、 関山 厚、菊地英敏、浅川真澄、服部克之、榊 麻衣子、田原典子、橋本和昌
審判アドバイザー	出倉義克
*コーディネーター	中村崇人
*セクレタリー	万沢一成
計時計算係長	大竹章裕
計時計算委員	橋本 憲、保坂治夫、茂木真理子
*計時計算アドバイザー	大沢宗明
安全対策係長	北村匡史
安全対策委員	山本博之
総務主任	柴崎日出夫
総務副主任	羽生健志郎

開催要項

(参加資格)

- 次に掲げる年齢を参加資格とします。
男子 45 歳以上
女子 40 歳以上
男女ともに、令和 6 年 1 月 1 日現在の年齢とします。

(競技種目)

- 競技種目は、次に掲げるとおりとします。ただし、全日本スキー技術選手権の競技種目に準じ変更する場合があります。また、天候、バーンの状況により変更する場合があります。
 - 大回り(中急斜面・整地)
 - 小回り(中急斜面・整地)
 - 総合滑降(中急斜面・整地)

(競技方法)

- 競技方法は次のとおりとします。
 - 予選は実施しません。
 - 総合成績の順位は、3 種目の合計得点によって決定します。
 - 得点方式は、100 点満点とします。減点法で採点し、3 審 3 採で得点の合計点で成績順位を決定します。
 - 天候等で競技ができなくなった場合は、中断までに実施した種目で成立します。
 - 競技役員の指示に従ってください。

(表彰規定)

- 表彰は次のように定めます。
 - 男子総合：カテゴリ別に 3 位まで表彰します。
・45 歳～49 歳の部 ・50 歳～59 歳の部 ・60 歳～69 歳の部 ・70 歳以上の部
 - 女子総合：カテゴリ別に 3 位まで表彰します。
・40 歳～49 歳の部 ・50 歳～59 歳の部 ・60 歳以上の部

(競技規則)

- 埼玉県スキー技術選手権に準ずる。

【その他】

- エントリー料は返金できません。
- 各自傷害保険に加入してください。
- 全日本マスターズスキー技術選手権大会に参加予定の方は必ず埼玉県マスターズスキー技術選手権大会に参加してください。
- ビブは最終種目滑走後にゴール付近にて回収します。持ち帰らないようにしてください。

3. 第 9 回埼玉県ジュニアスキー技術選手権大会

【会 期】	令和 6 年 1 月 20 日(土)
【会 場】	長野県 戸隠スキー場
【本 部】	戸隠高原ホテル TEL:026-254-2525
【大会役員】	大会会長 大藤雅史 大会副会長 新井利和
【組織委員会】	委 員 長 米田智幸

副委員長	長谷川悟、中村崇人、大沢宗明
委員	菅野雅一、宮沢宏文、万沢一成
【競技委員会】*技術代表	長谷川悟
*競技委員長	宮沢宏文
*総括審判長	菅野雅一
審判係	吉村哲詞、原田武久、大塚 毅、伊藤琢磨、町田 一、森 義之、高井一郎、 関山 厚、菊地英敏、浅川真澄、服部克之、榊 麻衣子、田原典子、橋本和昌
審判アドバイザー	出倉義克
*コーディネーター	中村崇人
*セクレタリー	万沢一成
計時計算係長	大竹章裕
計時計算委員	橋本 憲、保坂治夫、茂木真理子
*計時計算アドバイザー	大沢宗明
安全対策係長	北村匡史
安全対策委員	山本博之
総務主任	柴崎日出夫
総務副主任	羽生健志郎

開催要項

(参加資格)

- 次に掲げる年齢を参加資格とします。
 - 小学生低学年の部：平成26年4月2日生から平成29年4月1日生(小学校1～3年)
 - 小学生高学年の部：平成23年4月2日生から平成26年4月1日生(小学校4～6年)
 - 中学生の部：平成20年4月2日生から平成23年4月1日生(中学校1～3年)
 - 高校生の部：平成17年4月2日生から平成20年4月1日生(高等学校1～3年)

(競技種目)

- 競技種目は、次に掲げるとおりとします。ただし、天候、バーンの状況により変更する場合があります。
 - 大回り (中急斜面・整地)
 - 小回り (中急斜面・整地)
 - 総合滑降(中急斜面・整地)

(競技方法)

- 競技方法は次のとおりとします。
 - 予選は実施しません。
 - 総合成績の順位は、3種目の合計得点によって決定します。
 - 得点方式は、100点満点とします。減点法で採点し、3審3採で得点の合計点で成績順位を決定します。
 - 天候等で競技ができなくなった場合は、中断までに実施した種目で成立します。
 - 競技役員の指示に従ってください。

(表彰規定)

- 表彰はカテゴリ別に3位まで表彰します。

(競技規則)

- 埼玉県スキー技術選手権に準ずる。

【その他】

- エントリー料は返金できません。
- 各自傷害保険に加入してください。
- 出場は、保護者の承諾が必要です。申込書の保護者欄に署名してください。また、大会期間中は必ず保護者(20歳以上成人)が引率してください。
- 技術は、級別テスト2級またはジュニアテスト1级以上程度とします。
- ピブは最終種目滑走後にゴール付近にて回収します。持ち帰らないようにしてください。